

ふじさん

fujijoho group monthly magazine

平成29年指針

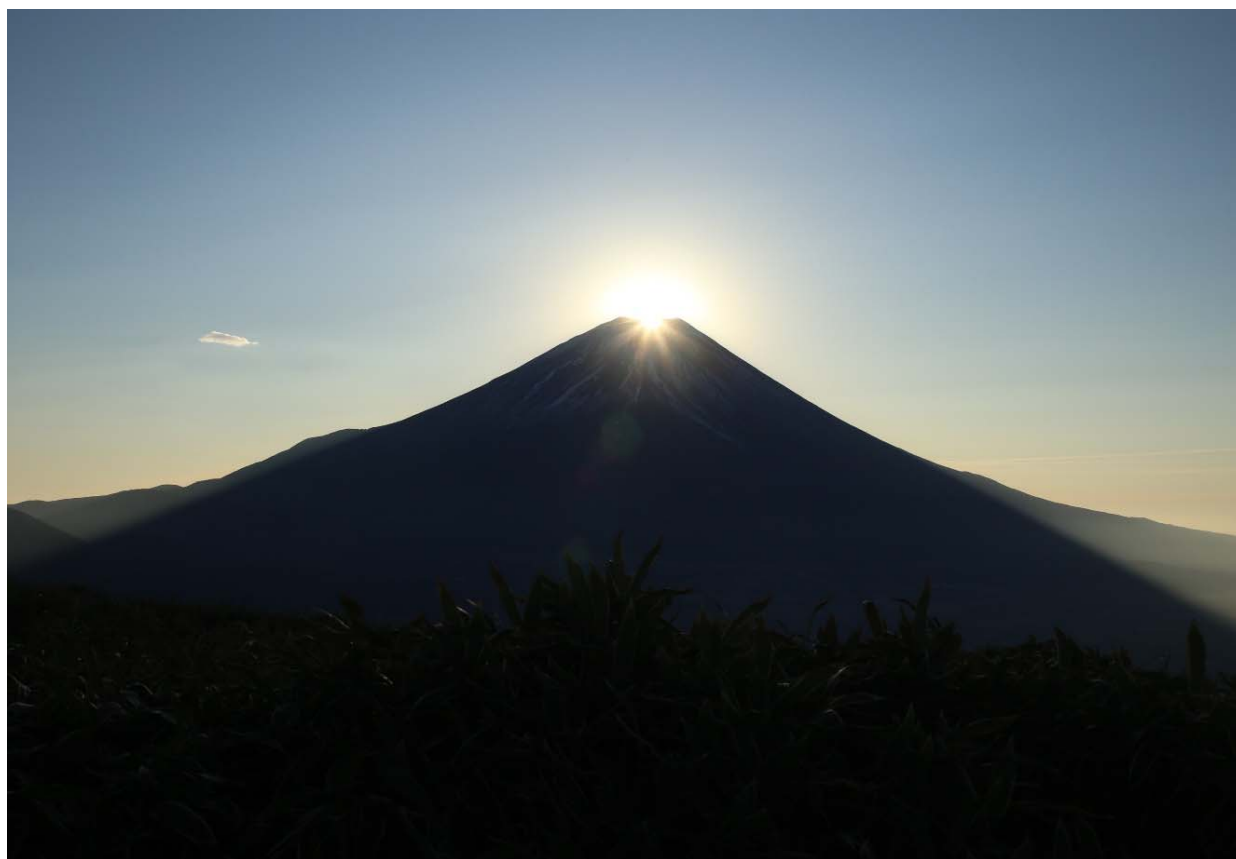
富士情報

賢守智略

[社長・年頭所感]

賢守智略

- ・役員・年頭メッセージ
- ・確定拠出年金セミナーを開催
- ・情報処理技術者試験合格者



ダイヤモンド富士（富士河口湖町・本栖・竜ヶ岳山頂から）

写真提供：富士河口湖町 観光課

【年頭所感】

賢守智略

取締役社長 渡辺直企

明けましておめでとうございます。

年末年始の穏やかな天候とは裏腹に、大きな変化が起きています。昨年はいギリスのEU離脱、トランプ氏の大統領選挙勝利など近年の政治や経済の常識を覆すような出来事が起きました。これらはグローバル化、ITを主体とする技術の発展などの本質的な変化に対する表面的な出来事であり、氷山の一角に過ぎず、これからも大きな変化が起きることが予想されます。まさに不確実な環境の真ただ中であるといえます。

当社におきましてはエントリ事業本部はここ数年、外的な課題に対応してきました。今後厳しくなっていくエントリ事業の環境を生き抜くために、このタイミングで“原点回帰”をしてこれまで以上に他社との差別化を図って行きたいと思えます。システム事業本部は昨年大きなプロジェクトが収束し、経営的には難しいかじ取りを強いられました。同時にこれまでの経験と成長を生かすよう、質の変化を促す新たな打ち手を講じてきました。新たな打ち手に関しては先行きが不透明で流動的、思うようにはいきません。一言でいえば混沌（カオス）。変化に翻弄されず本質を追求し冷静に着実に前進していきたいと思えます。新規事業推進部は新しいヘルプデスクの立ち上げの真ただ中、暗中模索、試行錯誤を繰り返しながら事業の創造に注力していきます。丸久は突然の大きな課題を目の前にしてまさに正念場、厳しい局面でこれまでの経験を生かし、乗り切っていきたいと思えます。

このように変化が激しい環境ですと目先の課題に振り回されがちです。本質を追求し、生き残り成長を続けたいという思いを込めて今年の指針を

「賢守智略」としました。

目の前に課題があると、正面から力づくで解決しようとしがちです。課題そのものだけでなく課題の本質をとらえ大局的、長期的な対応を心がける必要があります。目先の課題に追いかけていっていると、短期的には合理的な判断になるかもしれませんが、長期的に本質からかけ離れてしまうことになってしまいます。

賢守智略は賢く守り、英智をもって攻略するという意味です。ライバルやお客様に対して策をもって攻略するというのではなく、自分自身が賢守智略で本質的な成長をしていくという意味です。自分自身を取り巻く環境に対して、立ち位置を変え、能力を向上させていくことをイメージしています。我々の祖先が農耕を始めることができたのは、環境（自然）をよく観察し、本質（四季、太陽の動き、気候）を理解したうえで、リスクを負って将来収穫されるであろう果実のために適切な土地を選び、集団で力を合わせ大地を耕すことができたからです。目先の獲物を追っているだけでは狩猟採取の生活からは抜け出せませんでした。

我々が目先の利益に目が行ってしまうのにはいくつか理由があります。第一に本能です。今の利益が将来の利益よりも魅力的に感じるなど、人には認知的なバイアスがあり、状況を感覚的かつ客観的に認識するのは困難です。第二には、文化的バイアスです。人が集団で生活するにあたり共通の認識（文化）があります。集団のおかれている経緯や状況によって自由主義、個人主義、団体主義、権威主義など様々な考え方があり集団として環境に適応してきました。しかし、政治や経済の

変化、技術の発達など近年の急激な環境の変化に対応するためには集団で培ってきた文化が逆に足かせとなってしまいます。そして、最後には実力不足。課題に直面した時に自分の能力の質や量が伴っていないければ、そもそも課題に対して向き合うことすらできません。合理的に自分に不利な選択肢しか残らないことになってしまいます。変化が激しく、不確実な環境ではこのような傾向があるため合理的に誤った選択をしてしまい、課題の本質をとらえた対応が困難になってしまいます。

このような状況を回避するためにいくつかの対策があります。まず第一によく知るといことです。自分を取り巻く環境、課題を知り、関連する知識を得て、よく考えて本質を理解することが大事です。第二に本質を理解した上で、真に必要な

力を地道にコツコツと身に着け、地力をつけます。そして、実践の場で少しずつ挑戦し、経験値を蓄積し英智を伴った真の実力へと結びつけます。

これらのプロセスにおいて、一番大切なのは価値観です。「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」という近江商人の考え方があります。自分やお客様だけでなく、今の取り組みが社会的に役に立つか、正義に反していないかをよく意識してあるべき姿を描くことが大切です。

世界的にも、身近の課題に関しても非常に不確実な状況が想定されます。目先の課題に振り回されることなく、理想的には周りにとっての課題でも自分にとっては課題ではないような状況になるくらいの「賢守智略」を目指していきたいと思えます。

シンギュラリティ

専務取締役 小坂 志郎

昨年は人工知能 (AI) が大活躍しました。AI の囲碁ソフト「アルファ碁」が世界最強とも言われる韓国人棋士に4勝1敗で勝ち越しました。すでにチェスや将棋の世界でも AI が人間を破っています。AI はコンピュータ処理の高速化とディープラーニング技術の発達により、近年急速に進化しています。代表的な例は自動運転技術です。自動運転は完全自動運転の「レベル4」を頂点としていますが、すでに複数の操作を AI が担う「レベル2」までは実用化されています。

そんな中、米グーグルのレイ・カーツワイル氏は AI が人間の知能を超える (シンギュラリティ) 未来が 2045 年に到来すると予測しました。AI が自ら AI を作り始めたり、AI を搭載した無人飛行機やロボットが自動的に敵 (人間?) を攻撃する

かもしれません。シンギュラリティは突然やってくるわけではありません。ある研究によれば日本の労働人口の約 49% の仕事が 10 年~20 年後に AI やロボット (以下まとめて「AI」) に代替されるという衝撃的な試算が出ています。その中には建設作業員、運転士、銀行窓口といった「いかにも」な仕事だけではなく、会計士や弁理士、司法書士といった専門性の高いホワイトカラー的な仕事も含まれています。ちなみにデータ入力も代替可能性が高い仕事とされています。

技術の進歩は止められません。AI による仕事の代替やシンギュラリティは遅かれ早かれやってくるでしょう。AI に代替される仕事は本来人間がやる必要がない仕事だったと割り切るしかないように思います。AI の強みは計算、サーチエンジン機

能、繰り返し作業で、逆に創造性、社会的知性が弱点とも言われています。社会的知性とは「人々を理解し管理する能力であり、人間の世界でうまく生きていくために誰もが必要とするスキル」と定義されています。AIの得意分野で

競争してもおそらく人間は勝てません。それぞれの職業や勤務先でAIに寄り添いながら創造性や社会的知性を発揮して人間に残るであろう知的生産能力を高めていく努力が必要になると考えています。

信頼の継続

常務取締役 外川清久

昨年も社員のみなさまには、残業・休日出勤と厳しい勤務をお願いしましたが、お客様に対しては納品納期に関してのご迷惑を掛けずに1年間通すことができました。これは、偏に社員一人ひとりの業務に対する理解と協力であると感謝しています。

これからも私たちを取り巻く業界の環境は厳しく、更に「より良い品質とスピード」が要求されることが予想されます。「お客様に品質の良いサービスを提供し、評価と信頼を得て、また仕事をさせていただく」この繰り返しが常に求められています。また個人情報の取り扱いや反社会的勢力との関わりなど、コンプライアンスにおいては全社員が一つになり一人ひとりが自覚を持ち、同じ方向に進んでいかなければなりません。

現在、業界全体では仕事量が減少し厳しい競争にさらされ、多くの業者が縮小・廃業に追い込まれています。このような状況下で当社が生き残っていくには、更なるやる気と工夫で業務の問題点をひとつでも多く解決し、お客様への信頼を得て、より多くの仕事をいただけるよう努力・協力をお願いします。

また日々変わっていく状況とその対応で、私達に何ができるのか、どうすればいいのか、個人が考え行動していきましょう。

最後にこの1年、みなさん健康にはくれぐれも留意され、元気に活躍されることを期待しています。今年も、明るく・楽しく・元気よく仕事をしていきましょう。

思考のラピッドプロトタイパーになる

取締役 千野顕司

2016年は各エリアで「組織的レジリエンス力で臨みお客様と共に新たな世界にチャレンジすべくスタートを切る」という年初の目標に対し正にその通りの成果を上げられた年と考えています。まずはこの場をお借りして皆様のご奮闘に御礼を申し

上げます。

さて2017年はシステム事業部にとっては「新しいプロジェクト・新しい組織体制が本格化し正に具現化していく年」です。それには3つの視点

が重要となります。

まず第一は「地理と歴史を知る」です。私達の現場でも固有な組織のありようと組み合わせという地理面とそれに至る経緯・背景・流れの歴史面の双方を整理して先を読む事が重要な場面です。変化が激しい程、それに備える事、本質論をはずさない事を意識する必要がある訳です。

第二は「よりよくする先に新しいものを生み出す現場がある」です。小さな改善や工夫や提案の地道な積み上げが最終的には大きな力=現場力を生み出す事になります。今まで以上に様々な現場提案をお願いします。

第三は「ラピッドプロトタイパーになる」です。この言葉は製造業の試作品作りが3Dプリンターの普及により迅速化されていく様を意味します。我々の置かれている環境下でも、まさに第一の先読力をベースに迅速に仮説を作り、シナリオを練り上げる事が重要です。第二の現場力も様々な提案を迅速に実施しそれを積み重ねることが重要です。プロトタイプである以上複数の先読みのケースやその変化、現場で起きている様々な動きに柔軟に対応するのが前提というイメージです。

ラピッドプロトタイプ発想を駆使し確かな成果を掴んでいきましょう。

確定拠出年金セミナーを開催

16日に本社、18日に八王子で損保ジャパン日本興亜DC証券の講師をお迎えして確定拠出年金セミナーを開催しました。これは、運用商品の追加とマッチング拠出制度を導入したことによるものです。

セミナー内容としては、「DC制度とマッチング拠出」「運用の方法」「運用商品の概要」の3項目となり、「公的年金だけでは老後の生活費をカバーできないので、確定拠出年金が有効である」「マッチング拠出は税制メリットがある」等の話をわかり安く説明していただきました。



1月18日に八王子で開催したセミナー

○情報処理技術者試験合格者

昨年10月16日に行われた平成28年度秋期情報処理技術者試験で下記の3人が合格しました。

☆応用情報技術者

仲野あつみさん (システム・第2グループ)

海野 昌子さん (システム・第5グループ)

☆基本情報技術者

大井 佑輔さん (システム・第3グループ)

今月の表紙 ～ ダイヤモンド富士 ～

今月から表紙の写真は富士河口湖町観光課からご提供いただきます。第1回は新春にふさわしい「ダイヤモンド富士」です。富士山頂から太陽が昇る瞬間と夕日が沈む瞬間にダイヤモンドが輝くような光景が見られることがあり、これを「ダイヤモンド富士」といいます。富士山麓では山中湖から年に2回(2月と11月ごろ)観察できる日没のダイヤモンド富士が有名ですが、表紙の写真は本栖湖の南に位置する山梨百名山の1つ、竜ヶ岳(1485㍎)山頂からの元旦の初日の出の「ダイヤモンド富士」です。

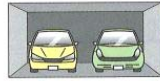
丸久通信

自動車保険 改定のご案内



親子でも **夫婦**でも **企業**でも 2台以上の自動車をお持ちのお客さまなら
損保ジャパン日本興亜でまとめてご契約いただくとおトクです!

1 ノンフリート多数割引が適用可能!



3%
割引

2台の自動車をお持ちのお客さま



4%
割引

3台以上5台以下の自動車をお持ちのお客さま



6%
割引

6台以上の自動車をお持ちのお客さま

2 分割払でも割増なし!

一括払も選択可能です。

「保険料分割払特約」を付帯する場合に一般のご契約なら必要な
分割割増(口座振替払の場合は5%、クレジットカード払の場合は4%)が不要となります。
(例)1年契約で一括払保険料が1台につき年間10万円
のご契約を口座振替で分割払にする場合は、2台
分の合計保険料は右記のとおりです。

分割割増が**ある**場合
(ノンフリート多数割引適用なし)
月々 **17,500円**

分割割増が**ない**場合
(ノンフリート多数割引3%適用あり)
月々 **16,170円**

年間
約 **16,000円**も
おトクです。

保険のお問い合わせは **丸久**へ 電話：0555-24-2341 メール：marukyu@ag.sjnk.co.jp



私の趣味
No.448

一病息災

川原正一

改めて、『これと言ってひとさまに自慢できるよ
うな趣味があったかな』とこの依頼を受けてからハ
タと気づき、趣味とは関係のないお題になってしま
いました。

元々、学生時代からスポーツと名が付くものは、
興味を持って取りあえずやってみるというチャレ
ンジ精神は旺盛でした。今から20数年前、三十路
を迎えた頃に仕事の転機や生活習慣の乱れ(暴飲暴
食)もあり、1型糖尿病を発病しました。1型は若
年性糖尿病とも言われ、血糖値を下げるインスリンが分泌されないのが特徴です。1
日に4回注射をしないと生きていけないこの不治の病と一生付き合っていく中で、ポ
イントは生活習慣に尽きる訳ですが、聖人君子のような行いとは縁遠い私が長年続い
ているのが、草野球です。今はアラフォー軍団となったチームに所属して、現役ピッ
チャーとして引力を応用した直球が持ち味で奮闘しています。その他で続いているものは、職場の皆さ
んと楽しんでいるゴルフです。50の手習いで始めたゴルフ、止まっているボールを打つなんてと舐
めていたのですが、いまだにライト線やレフト線の鋭い打球ばかりで学習能力の欠片も見当たりませ
ん。どちらも非日常の環境でたまに会う仲間と体を動かす爽快感が、日頃のストレスを癒してくれま
す。これからも病気とうまく付き合いながら生涯現役と言われるように続けていくことが目標です。
そのためには、すばらしい仲間と好奇心を大事にして少しでも長く、楽しく過ごすことが唯一の趣味
と思っています。



(一般財団法人 日本予防医学協会健康情報ネット事業部 次長)